

市の一般財源を使って、引き続き4月以降も給食費を無償に

市町村の一番の仕事は「福祉」

地方自治体の本旨は、「福祉の増進」と法律にも書いています。市民に一番身近な行政だからこそ、福祉は市町村が責任をもって実施すべきというのが原則です。そのために、国は補助金だけでなく、行政運営に必要なお金を、地方交付税として、市町村に配分しています。

白糠町は「子育て応援、日本一のまち」をめざして、様々な施策に取り組み、住民から喜ばれています。それだけでなく、子育てするなら白糠でと、釧路市から転居する世帯も増えています。鶴居村の下幌呂地区にも同様に、釧路からたくさんの子育て世帯が移住しています。

福祉の心を忘れた

蝦名市政

しかし、蝦名市長は、それとは逆に、支所を廃止し、暮らしにくいまちづくりをしています。

「支所を廃止したお金で通院医療費助成を中学校卒業まで」などと言っていますが、周りの町のほとんどが高校卒業まで無料になっていますから、とてもほかれるものではありません。

白糠町の子育て支援策

- ① 出産祝い金で5万円の商品券
- ② 18歳まで通院も入院も医療費は無料
- ③ 保育料は無料
- ④ 学校給食費無償・高校も無償で給食提供
- ⑤ 小学校入学2万円、中学入学3万円の商品券支給
- ⑥ 移住希望者に町有地を無償提供



釧路管内の自治体の学校給食費の状況

白糠町	無料
鶴居村	無料
厚岸町	無料
浜中町	無料
弟子屈町	無料
標茶町	町長が無償化を公約して当選
釧路町	今年度1年間は無料



せめて給食費だけでも無償化は続けてほしい

いま一番の焦点は、給食費です。国の新型コロナウイルスの地方創生臨時交付金を使って、市もいったんは無料にしました。しかし、無償期間はたった4か月。この4月からはまた有料に戻ります。

市には、くらし・福祉を削ったためこんだ基金がたくさんあります。とくに使道が自由な財政調整基金と減債基金は、前年度末で76億円を超えました。この一部を取り崩せば無償化を継続できます。

共産党は訴えます

通院の医療費も高校卒業まで無料に
加齢性難聴の補聴器購入助成の実現

村上かずしげ通信

2023. 1. 22